

フランチャイズ事業で、食べ物にされないために

この頃YAHOOのサイトに、のべつ幕なしにアントレ net のディスプレイ広告が大きく取扱われています。

独立開業・フランチャイズ代理店アントレ net「独立資金 0 円 年収 1000 万円者続々」とあります。勉強のつもりでクリックしてみますと、フランチャイズ事業（以下 FC）を通じて独立開業をとのアプローチが強烈です。そして各 FC 本部のサイトに導びかれるわけですが、その内容をチェックしてみますと、これが全く安易、粗雑で、なおかつ疑問だらけで、もっと言えば大変危険視すべきことが多くて社会通念上問題だと思わずにはおれません。

また 5 月 11 日付け M 新聞に「東京フランチャイズ独立開業 EXPO2014」の広告欄があり、それに「**国内人気フランチャイズ約 55 社が（予定）が集結**」とありました。

内容をひとつとおりチェックしましたが、常識的にも掲載の各業種に、許認可や、かなり熟達した技術や相当の知識と経験が必要なもの、また大がかりにやらねば事業として成立しないものなど、その実現性に疑問を持つことだらけでした。

冷静に考えてみましても、このようなサイトを取扱う会社、そのサイトを利用して FC 主体が自らの利益を図る仕組みを広く伝えるこのビジネスモデルに、疑念と憤りを感じずにはおれません。

そして、いつの世も「騙す知恵の悪質さ」に、本当に素人たるこれからの起業を考える人はしっかりした知識と見識をもって欲しいと願わずにはおれません。スタート時こそスタートを狙う安易な商法には乗るなというのが私の主張です。

当起業アドバイザー便り No.50 (2009 年 12 月) の**安易な起業に警鐘**より引用しますと

私の起業についての考えは、多岐に亘りますが、あえてここで改めて最大公約数として要約しますと、

- ① 計画や準備は慢らないこと。(これからスタートするビジネスモデルのマーケットにおける優位性の確認や実現性。実社会において積んで来た自らの経験と、資金、パートナー選びなど)
- ② 自身の健康と身内の理解に万全を期すこと。(耐乏生活を強いられることもある)
- ③ 最低 3 ヶ年はなんとしても目的完遂すると云う精神力を持ち続けること。

となります。

ここでお伝えしたいことは、起業で大切なことは単に起業することではなく、誰れしも事業として成功しなくては意味がないと云うことです。起業することは想像以上に大きなリスクを伴う作業ですし、簡単に途中で止めたり、投げだしたり出来ない自己責任の行為なのです。それ故に現代の若者特有の単なるノリで起業すべきことではないと警鐘を発したいと思うのです。

最後に、起業に挑戦して得られる人生は貴重ですが、安易に取り組み、大いなるものを失う人生ではあってはならないと思います。ですからスタートが騙されたものであってはならないのです。